

目的：九州エリアの公共交通利用促進・観光需要を喚起

- 九州内で同一プラットフォーム『my route』を活用することで情報発信から経路検索、チケットングまでワンストップで提供しマルチモーダルな公共交通利用の利便性向上を図る。
- MaaSアプリ導入事業者を拡大し、事業者やエリアを跨いだチケットの造成により、九州一帯で周遊する際の利便性を向上させる。
- QR機器・ビーコンによる移動データの取得および取得データの活用により自治体・交通事業者が商品改善や広告・PRへの反映を目指す。

事業内容：九州全域で県域・事業者を超えた広域サービスの提供

【① MaaSアプリmy routeの活用拡大】

- 未導入事業者にmy routeの活用に必要な各種設定・登録を実施し、デジタルチケット発売等サービス提供ができる環境を構築した。
- 協議会会員のアプリ活用に向けて、マニュアルの作成・配布や機能紹介、事例紹介などを実施した。

【② デジタルチケットの造成】

- ア)九州広域、イ)交通事業者間の連携、ウ)県境またぎ、エ)地域の観光コンテンツ等との連携が特徴的なデジタルチケットの造成を行った。

【③ QR端末の導入】

- QR端末によるチケット認証を一部エリア(博多・熊本)に先行導入。

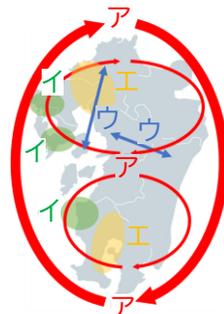
【④ データ利活用】

- ビーコンやmy routeから取得したODデータ等を活用し、利用実績やニーズを分析。企画券造成の検討に活用。

効果

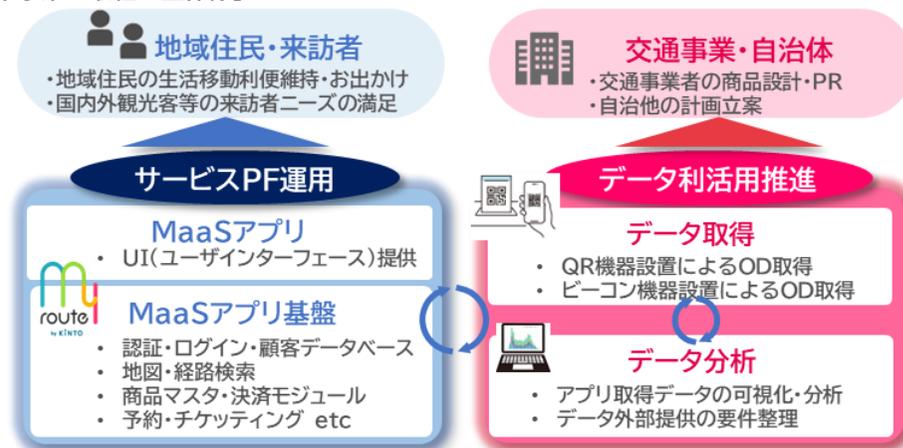
- 課題:九州島内の一部の限られた事業者でのみMaaSアプリの活用が行われていた。ODデータ等の精緻な利用実績が取得できておらず、データの活用が限定的であった。
- 効果: 13事業者が新たにアプリ活用を開始し、エリア・事業者横断的な新商品(26件68券種)発売開始。QR設置やビーコン技術を活用したデータ取得、取得データの活用の検討を進めることができた。

【実施エリア】 鉄道事業者、バス事業者、船舶事業者、航空事業者 その他事業者 計104社



分類	説明
ア 九州全域	九州全域を電車・バス・船など様々な手段で回遊できる商品・サービスの提供
イ 交通事業者連携	統一PFで、複数の交通事業者を横断的に利用可能な商品・サービスの提供
ウ 県境またぎ	県境を跨いだ広域な移動・回遊を促進するような商品・サービスの提供
エ 地域のコンテンツとの連携	交通だけでなく、観光地や施設などの地域のコンテンツとセットになった商品・サービスの提供

【本事業の取組の全体像】



【チケット造成ツール設定】 【MaaSアプリチケット造成】 【QR機器設置・ビーコン実証】

